

火災を出さないために

- A. 清掃、整理・整頓、片付け 不要なものは極力かたづける。可燃物を減らす。電気コードにモノをのせない。
- B. 発熱・発火原因の除去 とにかく火が出る要因を無くす。
- C. 定期的な点検 及び 管理 行った対策の効果を継続する。
- D. 火災原因可能性の見える化 点検・管理がしにくくなる要因を減らす。発熱するものを隠さない。
- E. 消火訓練・避難経路の確認、情報の共有 自分と他の人の命を守る行動をとる。

1 発火を防ぐ	2 引火、延焼を防ぐ	3 初期消火 早期探知と早期消火	4 避難、消防署への通報
<p>火が出る原因を除く</p> <p>発火の源因 コンセント、ブレーカーのトラッキング現象 ケーブルの断線、短絡 ケーブルの折れ曲がり、圧迫による過熱 ケーブル・延長コードの不適切な使用方法 機械 切屑により熱がこもる シナー等気化可燃ガス等への静電気による着火</p> <p>対策 コンセント、電気配線、延長コードの見える化 配線の保護 清掃、片付け 不要電気の停止 換気 静電気帯電防止 防爆 不良配線の取替 延長コードの取替 ブレーカーのボックス収納 トラッキング用コンセントへの取替 旧型分電盤の現行分電盤への更新</p>	<p>発火した火が燃え移る、燃え広がるのを防ぐ</p> <p>特に危険な現象 フラッシュオーバー 粉塵爆発</p> <p>対策 可燃物をを片付ける 清掃して切りくずを無くす 不要のモノを捨てる 室内（天井・床・壁）を不燃材に変える</p>	<p>なるべく早く火災の発生を認知する 初期消火が可能ならば速やかに消火する</p> <p>火災の発見・探知 火災報知設備</p> <p>初期消火 消火器 消火栓 スプリンクラー</p>	<p>消火ができない場合は速やかに避難 その後直ちに消防署へ通報 日頃から避難経路を確認する 避難経路にモノを置かない 火災時に一酸化炭素を吸わない</p> <p>誘導灯 火災時の避難口の認知 非常照明 停電時の避難通路の明るさの確保 通路の邪魔物の片付け 避難ルートの確保</p> <p>強制換気、排煙窓 一酸化炭素ガスの排出 (バグドラフトに対しては要注意)</p> <p>消防署へ通報</p>

1 発火を防ぐ

火が出る原因を未然に取り除く

a 作業場、工場等の代表的な発火の要因

- ・ コンセント、ブレーカー端子間のトッラッキング現象による短絡（ショート）
- ・ 電気ケーブルの踏み付け、折れ曲がり、切裂等の原因で、電気抵抗増大による発熱及び発火、又は短絡（ショート）・漏電による発火
- ・ コンセントプラグ等の差込プラグの差込不足、端子ネジの振動又は熱値の増減によるゆるみ、配線結線不良等の原因で電気抵抗増大による発熱・発火
- ・ 電気配線ケーブル、延長コード等の不適切な使用方法又は不適合な太さのためにおこる発熱・発火
- ・ 工作機械等の機械でたまった切り屑により熱がこもる、あるいはオイル切れ等のため摩擦力が増大して発熱するといった原因による発熱発火
- ・ 接着剤・塗料吹き付け時の気化したシンナー等可燃ガスに静電気スパーク又は電動工具起動時のスパークの引火又は他の火種からの引火
- ・ 焼却炉、ガスバーナー、溶接機アーク、グラインダー火花、投光器等の火種・発熱体からの引火
- ・ たばこからの引火、放火

b 対策

- ・ コンセント、電気配線ケーブル、延長コードなどの見える化 →点検・清掃の簡易化 簡単に確認できる場所に配置する
- ・ ケーブルラック施工による隠蔽配線の移設・見える化
- ・ 隠蔽コンセントの移動・廃止・又はトラッキング対策用コンセントへの取替え
- ・ 旧形分電盤の現行分電盤への取替え（ブレーカの感度が良い）
- ・ ブレーカーのボックス施工、又はケースブレーカーへの取替
- ・ 配線ケーブル、延長コードの配管等による保護
- ・ コンセント、ブレーカー、照明器具、工作機械等の発熱・発火要因器具の定期的な点検・清掃及び管理
- ・ 不良電気器具・配線の撤去又は取り替え 古い電気器具・配線の更新
- ・ 不要電源の停止・撤去
- ・ 細い延長コード・コードリールの取替え（VCT1.25mm²は業務用としては細い、2.0mm²か3.5mm²に取替え）、コードリールは必ず伸ばして使用
- ・ 接着材・塗料吹き付け場所の換気、静電気帯電防止・除去具の仕様、防爆型器具の仕様、電動工具使用の禁止
- ・ 室内不要物の撤去、作業動線の見直し・効率化、製品・材料の置き場所の管理
- ・ 屋外不要物・可燃物の撤去、屋外防犯照明・防犯カメラの設置

2019 三輪電設

2 引火、延焼を防ぐ

発火した火が燃え移る、燃え広がるのを防ぐ

a 特に危険な現象

- ・ フラッシュオーバー
- ・ 粉塵爆発

b 対策

- ・ 不要物・可燃物を片付ける
- ・ 切り屑・削り屑など細かな可燃物を清掃
- ・ 室内（天井・壁・床）を不燃材に変える

3 初期消火 早期探知と早期消火

なるべく早く火災の発生を認知する
初期消火が可能ならば速やかに消火する

a 火災の発見・探知

- ・ 自動火災報知設備 → 設置する場合、消防署への届け出が必要

b 初期消火

- ・ 消火器の設置
- ・ 消火栓の設置 → 設置する場合、消防署への届け出が必要
- ・ スプリンクラーの設置 → 設置する場合、消防署への届け出が必要

4 避難・消防署への通報

消火ができない場合は速やかに避難

その後直ちに消防署へ通報

日頃から避難経路を確認する

避難経路にモノを置かない

火災時に一酸化炭素を吸わない

a 避難

- ・ 誘導灯 火災時の避難口の認知 → 設置する場合消防署へ届出
- ・ 非常照明 停電時の避難通路の明るさの確保
- ・ 通路の邪魔物の片付け 避難経路の確保

b 排煙 一酸化炭素ガスの排出 (バッドラフトに対しては要注意)

- ・ 排煙窓の設置
- ・ 強制換気設備の設置 自動化する場合には自動火災報知設備と連動

c 消防署への通報

- ・ 一般電話
- ・ 消防機関へ通報する火災報知設備 → 設置する場合消防署へ届出